

# 労働図書館新着情報

今月の10冊(日本十進分類[NDC]順に掲載)

<p>①古沢昌之著『グローバル人的資源管理論』白桃書房(xiv+285頁,A5判) 著者20年来の「日本企業の国際人的資源管理に関する研究」の成果である。「国境を越えた協同」のあり方を、文献研究、アンケート調査、事例調査、欧米との比較研究という多彩な方法で追求している。日系企業の発展には現地適応とグローバル統合の両立、国境を越えた社会化とグローバル人事制度が鍵になるとしている。</p>	<p>⑥新谷勝著『新しい従業員特株制度』税務経理協会(2+8+267頁,A5判) 平成5年に制定された日本証券業協会の自主ルール「特株制度に関するガイドライン」は、金融商品取引法等に合わせ改正(新ガイドライン)されたが、有効な買戻防衛策としての安定株づくりと株価対策として本制度の重要性が再認識されてきた。現下の株価急落に対処するため、本制度の詳細な紹介は有意義である。</p>
<p>②伊藤元重編『リーディングス格差を考える』日本経済新聞出版社(vi+250頁,B6判) 本書は、現代日本のホットイシューである格差問題に関する既発表論文の編集著作物(リーディングス)である。NIRAプロジェクトとしてまとめられた。多くの資料を渉猟し、所得・雇用・若年・教育・地域間格差を取り上げた論文や米国の事例紹介論文等で構成されている。格差問題に対する学界の努力が一望可能である。</p>	<p>⑦水谷英夫著『ジェンダーと雇用法』信山社(xiii+286頁,B6判) 日本は、母親になるのにベストな国ランキング146カ国中31位であるという。このような現状の下著者は、「ジェンダーと法」に続く本書でジェンダーと平等、雇用の関わりを論じ、性差別を克服する方法を模索、職場と家庭のジェンダー平等をめざして、ジェンダー法理論、ジェンダーと雇用法を実践的に検討している。</p>
<p>③チャールズ・ユウジ・ホリカ他編『世帯内分配と世代間移転の経済分析』ミネルヴァ書房(vii+176頁,A5判) 家計経済研究所「世帯内分配・世代間移転に関する研究」の成果である本書は、家族内の経済関係の把握を目的としている。アンケート調査等による分析は、従来の一入稼ぎモデルが有効性を喪失し、所得格差が拡大した現在、世帯内所得分配や消費、教育・相続等による所得移転の実態把握にも有意義な方法であろう。</p>	<p>⑧三富紀敬著『イギリスのコミュニティと介護者』ミネルヴァ書房(xi+418頁,A5判) コミュニティによるケアについてイギリスの支援の現状と課題を歴史的及び国際比較により検討、日本の社会福祉政策への示唆を得ようとしている。イギリス等海外の介護問題をテーマとした著者3作目の「MINERVA社会叢書」。介護者のバーンアウト問題に関し、レスパイトケアやカウンセリング等の対策にも言及している。</p>
<p>④日本司法書士会連合会編『個別労働紛争解決支援の実務』青林書院(xvii+420頁,A5判) 本書は、市民の法的需要に一人でも多くの司法書士が対応できるように、個別紛争解決支援の実務指針として編纂された。個別労働紛争解決を支援する法制度が整備され、相談件数、訴訟事件とも増加しているが、訴額の少額化によって司法書士のニーズが増大すると見込んだ日本司法書士会連合会の対策の一つである。</p>	<p>⑨九州弁護士会連合会他編『障害者の権利と法的諸問題』現代人文社(303頁,A5判) 国の障害者政策は財政状況に影響され、措置制度から支援費制度へ、さらに応益負担原則に基づく障害者自立支援法へ大きく変化しているが、本書では障害者の権利を原点に、国際的潮流を概観するとともに、参政権や成年後見制度など実務上の問題点も分析している。障害者問題は財政とは独立的存在であるべきなのである。</p>
<p>⑤荒木尚志他著『詳説労働契約法』弘文堂(ix+312頁,A5判) 労働契約法に関する解説書出版が一段落したと思ったところに本書が出版された。他者との比較は小子の能力を越えているが、本書の特徴は、法制過程に関与した3人の労働法学者が制定の意義、経緯、課題を共通意見として詳論したことであるという。小ぶりの本は、産業界の庇護の下、どう成長していくであろうか。</p>	<p>⑩佐藤博樹編集代表『ワーク・ライフ・バランス』ぎょうせい(x+325頁,A5判) 「子育て支援シリーズ」第2巻として、仕事と子育ての両立支援の視点からワーク・ライフ・バランス(WLB)を考察、企業の取組、政府・自治体による制度促進策、国際比較や法的枠組等で本書は構成されている。両立支援からWLBに関心が移行し、労働者生活全体への配慮の中で子育て支援も検討されつつあるのである。</p>

## 主な受け入れ図書

(2009年1月に労働図書館が収蔵した主な図書)

①神田昌典他著『10年後あなたの本棚に残るビジネス書100』ダイヤモンド社(123頁,B6判)	③杉山秀文著『「名ばかり管理職」リスクを見直す』日本法令(296頁,A5判)
②慶応義塾大学法学部編『慶応の教養学』慶応義塾大学法学部(vii+451頁,A5判)	④川喜多喬他著『人材育成キーワード99』泉文堂(232頁,B6判)
③杉村芳美著『職業を生きる精神』ミネルヴァ書房(xiii+301+6頁,B6判)	⑤原田泰他著『物価迷走』角川書店(221頁,新書判)
④田島弓子著『ワークライフ「アンバランス」の仕事力』ディスカヴァー・トゥエンティーン(225頁,B6判)	⑥竹森俊平著『資本主義は嫌いですか』日本経済新聞出版社(283頁,B6判)
⑤慶応義塾大学法学部編『地域研究』慶応義塾大学法学部(vi+291頁,A5判)	⑦ナン・リン著『ソーシャル・キャピタル』ミネルヴァ書房(xvi+371頁,A5判)
⑥慶応義塾大学法学部編『政治・社会』慶応義塾大学法学部(vii+329頁,A5判)	⑧両宮処凛著『怒りのソウル』金曜日(140頁,B6判)
⑦高橋洋一著『霞が関をぶっ壊せ!』東洋経済新報社(xvi+270頁,B6判)	⑨夢沼謙一著『労働時間法論』信山社出版(ix+635+4頁,A5判)
⑧ネクストドア著『新地方公務員になろう』インデックス・コミュニケーションズ(206頁,B6判)	⑩唐津博他編『労働法重要判例を読む』日本評論社(287頁,A5判)
⑨功刀達朗他編著『社会的責任の時代』東信堂(xi+286頁,A5判)	⑪太田光他著『我働くゆえに』講談社(139頁,新書判)
⑩慶応義塾大学法学部編『商事法』慶応義塾大学法学部(vi+273頁,A5判)	⑫職業能力開発研究会編『詳解職業能力開発の現状改訂3版』雇用問題研究会(379頁,A5判)
⑪常木淳著『法理学と経済学』勁草書房(x+173頁,A5判)	⑬樽松佐一著『トヨタの足元で』風媒社(182頁,B6判)
⑫マッテオ・モッテリニニ著『経済は感情で動く』紀伊國屋書店(316頁,B6判)	⑭清水直子著『おしえて、ぼくらが持っている働く権利』合同出版(150頁,A5判)
⑬今井健一他編『中国 産業高度化の潮流』日本貿易振興機構アジア経済研究所(v+286頁,A5判)	⑮坂巻美和子著『女性の再就職力』北辰堂出版(158頁,B6判)
⑭佐藤幸人編『台湾の企業と産業』日本貿易振興機構アジア経済研究所(viii+325頁,A5判)	⑯竹内裕著『日本の賃金』筑摩書房(204頁,新書判)
⑮岡本次郎著『オーストラリアの対外経済政策とASEAN』日本貿易振興機構アジア経済研究所(ix+316頁,A5判)	⑰石垣修著『企業年金運営のためのエリサ法ガイド』中央経済社(2+23+418頁,A5判)
⑯坂中英徳他著『移民国家ニッポン』日本加除出版(189頁,B5判)	⑱キース・P.アムバクン著『年金大革命』金融財政事情研究会(428頁,A5判)
⑰ISSコンサルティング編『経営プロフェッショナルは、いかに自分を高めたか』ダイヤモンド社(ix+242頁,B6判)	⑲東武労組女性労働運動史研究会編『発車オーライ!』ドメス出版(208頁,A5判)
⑱江副浩正著『リクルートのDNA』角川書店(215頁,新書判)	⑳メディア総合研究所編『貧困報道』花伝社(83頁,A5判)
⑲立石泰則著『企業栄えて、我ら疲弊す』草思社(255頁,B6判)	㉑マイケル・エリック・ダイン著『カリナが洗った貧困のアメリカ』ブルース・インターアクションズ(xi+293+28頁,A5判)
⑳デーブ・ウォルヒ他著『人が生み出す会社の価値』日経BP社(358頁,A5判)	㉒石渡嶺司他著『就活のバカヤロー』光文社(278頁,新書判)

### 労働図書館(資料センター)

当図書館は、社会科学関係書を中心に和書105,000冊、洋書26,000冊、和洋の製本雑誌20,000冊を所蔵している労働関係の専門図書館です。

労働関係の分野には、労働法、労働経済、労働運動、雇用職業、女性労働、パート派遣、高齢者労働、障害者労働、外国人労働、社会福祉などがあり、これらで、蔵書の半数以上を占めています。その他にも、経済書をはじめ経営学、心理学、教育学、社会学など関係分野に及んでいます。また、和雑誌(460種)、洋雑誌(170種)、紀要(560種)、組合機関誌・紙を受け入れています。

特色としては、厚生労働省をはじめとする官公庁発行の統計類などの逐次刊行物、日本経団連など経営者団体の刊行物や民間研究機関刊行物、社史があり、労働組合に関しては、労働運動史、ナショナルセンターや産業別組合の大会資料などを継続的に収集しています。洋書については、特にILO(国際労働機関)総会の議事録やOECD(経済協力開発機構)の刊行物、各国政府の労働統計書などを収集して閲覧に供しています。特殊コレクションとしては、戦前・戦後を通して労働組合の歴史的に貴重な原資料を収集、保管しています。

開館時間：9:30～17:00

休館日：土曜日、日曜日、国民の祝日、年末年始(12月28日～1月4日)、その他

電話番号：03(5991)5032 / FAX：03(5991)5659

利用資格：どなたでも自由に利用できます

貸出：和書・洋書とも2週間、5冊までです

※身分証明書(運転免許証、健康保険証など)をお持ちください

レファレンスサービス：図書資料の所在調査などのサービスを行っています